

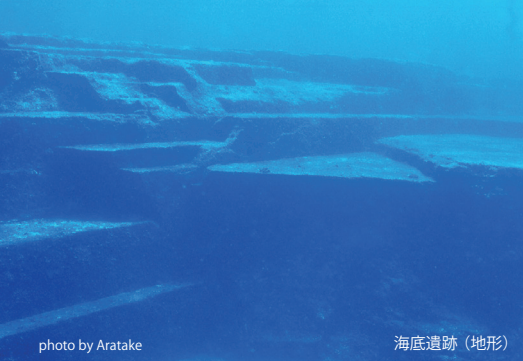


photo by Aratake

海底遺跡（地形）



東崎



与那国馬

Photo by ちまんま広場



『Dr.コトー診療所』オープンセット



南牧場



立神岩



長命草



豊年祭 旗頭



第43代ミス八重山
南十字星 大高凛佳さん



日本最西端の碑（西崎）



町の花ゆり

photo by Yasuzawa



日本最西端
与那国島を体験。

【主催】一般社団法人 与那国町観光協会

【協力】与那国町・与那国町商工会・祖納 東公民館・東地区芸能保存会 棒座・合名会社 崎元酒造所・株式会社 どんなん酒造・一般社団法人 八重山ビジターズビューロー

与那国観光
WEBサイト



日本が一番西にある／

中部国際空港から
約1,700km

那覇

与那国島って どんなところ？

観光

与那国島

波照間島

石垣島

多良間村

宮古島

一周 27km、小さい島に広がる雄大な景色

【概要】

周囲 27.49km
面積 28.96km²
人口 約 1,700人

【アクセス】

飛行機

沖縄空港から約 90 分
石垣空港から約 30 分
* 飛行機はJAL から予約



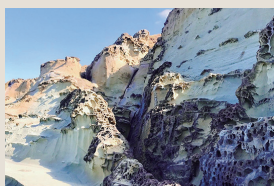
フェリー

石垣港から約 4 時間

旅に役立つ
パンフレット
あります



国指定 名勝地「久部良バリエル及び久部良フリン」



国指定 天然記念物・名勝地
「サンニヌ台」一帯 (1.3km)



国指定 名勝地「ティンダバナ」

芸能

国の重要無形民俗文化財 祭事芸能舞台披露

出演：与那国島 祖納 東公民館



〈与那国島の祭りの芸能〉は、国の重要無形民俗文化財に指定されており、芸能史的にも民俗的にも注目すべき芸能を数多く伝承している。

与那国島はかつて南方文化、中国文化の影響を受けるとともに、西下した琉球王朝時代の文化をも受け止めて八重山諸島の中でも特異な文化を継承してきている。

*文化庁HPより一部抜粋

人口 1,700人の島から総勢 29人 中部国際空港セントレアの舞台へ

島の祭事〈豊年祭〉で島の神に奉納する〈伝統芸能〉から10 演目を披露します。1日3公演、1回につき9 演目(約1 時間)の見応えたっぷりの舞台が楽しめます。人口 1,700 人の島から総勢 29 名が舞台のために中部国際空港に集まります。

ぜひ与那国島の風を感じにお越しください。島の舞踊は公民館ごとに数多く保存・継承されており、今回は島の中心にあたる、祖納集落(東公民館)に伝わる芸能です。

座ならし

始まりを告げる力強い太鼓

ミティアギ

道をあけるという意味で、座開きにあたる

道唄 ミティアウタ (初回限り)

帰り道に歌ったのが起源。祭事で初頭で踊る

与那国ぬまやー小 (2 回目以降)

与那国に伝わる猫の民謡。軽快なメロディー

ちでいん口説

ちでいんは太鼓のこと。豊作を祈願している

六尺イララ 棒踊り

六尺は棒、イララは鎌のこと。棒と鎌の戦い

六尺二人 棒踊り

島の棒踊りは290年の歴史。2 人組の棒踊り

豊年歌劇

豊年満作を躍動感ある踊りで表現している

ティンバイナギナタ

笠(ていんばい)・長刀(なぎなた)の迫力ある演舞

ンビチ

棒の終わりを告げる

芸能 演目

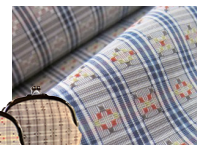


与那国織 伝統工芸品

よなくにおり

与那国織は琉球王朝へ献上されていた500年の歴史のある織物です。島の植物から糸を染め、デザイン、織りまでひとりの織子が仕上げます。織子により色合いやデザインが異なるのも魅力です。

*写真は一例です



与那国島の全域に自生する神聖な木であるクバ(ビロウ)の葉で、島暮らしの民具が作られてきました。素朴で美しい佇まいが人気です。

ほかにもあります！



ワークショップ
開催します

島の生活から
生まれた民芸品

クバ民具

※作家の方が舞台出演の
間に開催します。時間は当日
ご確認ください。

物産

〈お問合わせ〉一般社団法人 与那国町観光協会
〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町字与那国 437-17
TEL: 0980-87-2402 FAX: 0980-87-2445

SNS 発信中



instagram



(twitter)



与那国観光
WEBサイト

